

GRAND CYCLE TOKYO 実行委員会（第19回）

議事要旨

日時：令和7年7月8日（火） 午後3時から

場所：都庁第一本庁舎 18階 18A会議室及びオンライン

1. 開会

2. 審議事項（1）「令和6年度決算について」

① 収入の部

・予算額 1,146,000,000円

・決算額 1,098,245,830円

内訳：東京都負担金 1,010,815,921円

参加料 78,429,909円

協賛金 9,000,000円

② 支出の部

・委託費（実施運営費）等 1,098,245,830円

内訳：委託料 1,091,619,452円

そのほか補償費、事務費等は資料を参照

・主な委託料内訳

i) 令和6年度 GRAND CYCLE TOKYO レインボーライド・マルチスポーツイベント実施計画策定支援及び運営委託 約5.5億円

ii) 第2回「THE ROAD RACE TOKYO」（仮称）実施計画策定支援及び運営委託
約4.8億円

iii) 首都高の交通規制、看板設置等の契約（6件） 約0.5億円
詳細は資料を参照

【委員からの質問】

（質問）

昨今特に人件費が高騰しているが、その影響は数字に表れているか

（事務局回答）

人件費は確かに上がっているが、安全対策に配慮しつつも効率的な人員配置等を進めたこ

となどで、一昨年より委託料の圧縮を図っている。

【審議事項（１）について全員異議なし】

3. 報告事項（１）「THE ROAD RACE TOKYO TAMA 2025 開催概要について」

- ・大会前日イベントを三井アウトレットパーク 多摩南大沢にて実施
実施内容は、チームプレゼンテーション、エリート選手やパラサイクリストが会場内を走行するエキシビション走行、アンバサダーの稲村亜美さんや青山学院大学陸上部の原監督をゲストに迎えてのトークセッション、子供を対象としたサイクルスクール等
- ・男子エリートロードレースは、武蔵野の森公園を 7：30 スタートし、青梅駅前にフィニッシュする。UCI 公認の国際自転車ロードレースとして、海外 8 チーム、国内 9 チームの合計 17 チームがエントリー、100 名以上の選手が参加
- ・エリート女子は、スタート、フィニッシュともに JR 青梅駅で、約 20 名が参加
- ・スタート前にはセレモニーを実施。男子は、中村副知事がスターター、沿道 8 市の市長など代表者によるテープカットを行う。女子は、青梅市長がスターター。
- ・男子エリートレースのパレード走行には、GCT アンバサダーやゲストに加えて、パラサイクリングの全 4 クラスの選手も参加する。表彰式は、沿道 5 市の市長やスポンサーにプレゼンターをお願いしている。
- ・当日イベントは、フィニッシュ会場となる JR 青梅駅前周辺で実施。内容は、レースのライブ中継や地元団体パフォーマンスなどのステージイベント、自治体・関係団体等の PR ブース出展など。あわせて、日本パラサイクリング連盟様のご協力をいただきパラサイクリング体験、パラサイクリストと地元学生によるパラサイクリングエキシビション等を実施。
- ・コース体験ライドというファンライドを、エリートが走行した周回コースにチャレンジする形で実施。今回は約 400 名が参加する。
- ・開催にあたっては、一層の盛り上げを創出するとともに、安全を第一として運営する。大会実施後に改めて開催報告等をさせていただく。

【委員からの質問】

（質問）

- ①男子のパレード走行はどこまでか
- ②サインオンとは何か
- ③パラの参加者中に聴覚障がい者はいるか？（今年はデフリンピックがあるので）
- ④暑さ対策はどうしているか

⑤交通規制の周知は十分であるか

(事務局回答)

- ①ゲストランナーは約 2 キロの野川公園までである。選手のパレードランは是政橋付近までとなる。
- ②参加選手は、出走前に自分の名前をサインして出走するのが習わし=サインオン
- ③出場を打診したが、参加は叶わなかった。デフリンピックの PR は青梅駅前のブースで行う
- ④選手は各チームで十分な水分補給体制を取っている。他にはアイスバスを用意する。フィニッシュには大型バスを用意し、そこでクールダウンしてもらう。観覧者にはスポンサーから冷たい飲み物やうちわ、ミストファンの提供、冷房の効いたクーリングコンテナを提供してもらう。
- ⑤交通規制は、沿道でのポスティング、ネット、テレビでの広報で前回よりきめ細かく実施しており、更には地元自治体にも広報の協力をお願いしている。

4. 報告事項(2)「レインボーライド 2025 参加者募集について」

- ・本年度レインボーライドは、12月7日、日曜日に開催する
- ・コースは、基本は昨年度と同じだが、沿道状況などにより一部コースを変更している。変更に伴い、ロングコースは昨年度より2km延長して37km。ミドルは1km延長して20kmとなった。また、本年度はロングのテストコースとして、51kmのコースを用意した。
- ・募集人数は昨年度と変わらず6,000人。一般枠には昨年同様港区・江東区の地元優先枠を1,000名設けている。参加料も昨年度と同じ料金を設定した。
申込みはインターネットからで、一般枠が7月11日金曜日から9月16日火曜日まで。
申し込み多数の場合は抽選となる。VIP 枠は7月18日金曜日から先着100名募集。
また、今年は団体枠という小中高の部活等による団体申込も受け付ける。
- ・コースの変更箇所について。
 - ① 今年3月に開園した海の森公園をレインボーライドのコースに追加した。それにより、、走行距離 + 約1.5km、高低差 + 40mの園路を走行でき、また景観も良く、走りごたえのあるコースとして、参加者満足度向上につなげる。
 - ② 若洲公園の大規模改修に伴って、安全な走路確保のため、往路を公園の外周を走行させるようコースを一部変更。

- ③ テストコースについて、例年、多くの参加者から「走行距離を延ばしてほしい」という要望をいただいているため、ロングコースのVIP参加者のうち希望者を対象に、ゲートブリッジ・若洲海浜公園を2往復するテストコースを実施する。この距離延長により約51kmのコースを設定し、今年度、試行的に実施した結果を踏まえ、来年度以降のコース検討等に活かしていく。

【委員からの質問】

（質問）

- ①海の森公園をコースに入れたのは良いが、コース的に難易度が上がるのではないかな
- ②テストコースを走る人はVIPのうちの一部の参加者なのか
- ③地元枠の1000名はどういう形で募集するのか
- ④外国人参加者へのアプローチはどうしているのか。

（事務局回答）

- ①自転車ファンは高低差を好む傾向にあるが、初心者もいるので説明はしっかり行う。
- ②その通りである。今年はテスト的に実施するもの。
- ③申し込む際に地元枠は別枠募集する。
- ④一般枠での優遇はしないが、今年は台湾からのツアーを造成して参加者を募る予定。

5. その他

・今後の実行委員会のスケジュール

- ① 8月下旬頃を予定

THE ROAD RACE TOKYO TAMA2025 の開催報告、レインボーライド開催に伴う首都高関連契約、レインボーライドの交通規制計画を審議・報告

- ② 11月中旬を予定

レインボーライド・マルチスポーツの開催概要を報告

- ③ 令和8年1月にレインボーライド・マルチスポーツの開催報告

- ④ 3月下旬頃、実行委員会会則などの改定、来年度の事業計画などを審議

【委員からの質問・コメント 特になし】

6. 閉会